



## 2026年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月29日

上場会社名 株式会社 ラクーンホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3031 URL https://www.raccoon.ne.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小方 功  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当副社長 (氏名) 今野 智 TEL 03-5652-1711  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年4月期第1四半期の連結業績(2025年5月1日~2025年7月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期第1四半期	1,559	2.3	271	△9.6	264	△11.5	172	△15.9
2025年4月期第1四半期	1,523	9.6	299	7.6	298	6.2	205	12.3

(注) 包括利益 2026年4月期第1四半期 172百万円(△15.9%) 2025年4月期第1四半期 205百万円(12.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年4月期第1四半期	8.49	8.42
2025年4月期第1四半期	9.58	9.52

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年4月期第1四半期	15,956	4,520	27.2	213.83
2025年4月期	16,217	4,584	27.3	217.42

(参考) 自己資本 2026年4月期第1四半期 4,346百万円 2025年4月期 4,419百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年4月期	—	10.00	—	12.00	22.00
2026年4月期	—				
2026年4月期(予想)		11.00	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年4月期の連結業績予想(2025年5月1日~2026年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,740	10.5	1,410	12.4	1,400	0.2	900	7.5	44.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年4月期1Q	22,258,943株	2025年4月期	22,258,943株
② 期末自己株式数	2026年4月期1Q	1,930,310株	2025年4月期	1,930,310株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年4月期1Q	20,328,633株	2025年4月期1Q	21,404,874株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2025年5月1日～2025年7月31日)における我が国経済は、雇用・所得環境の改善等により、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、物価上昇やアメリカにおける関税政策の影響等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは当連結会計年度を初年度とする中期経営計画に取り組んでおります。今中期経営計画のテーマは「顧客ニーズを生かした各サービスの成長と、グループ顧客化によるLTV向上」を掲げており、2026年4月期は、引き続き顧客獲得ベースを向上させることで事業規模の拡大を図っていく方針で二桁増収、二桁増益を目指しております。この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,559,365千円(前年同期比2.3%増)となりました。なお、前期第3四半期より株式会社ラクーンレント(家賃保証事業)が連結子会社から除外された影響により連結売上高の成長率は抑制されております。

費用面におきましては、人件費は前年同期比5.5%増、広告宣伝費は前年同期比5.6%増とそれぞれ一桁増加となりました。その他費用については、EC事業においてアメリカの関税の影響により海外送料等が増加したことで前年同期比20.2%増となった結果、販売費及び一般管理費は前年同期比8.8%増となりました。この結果、営業利益271,079千円(前年同期比9.6%減)、経常利益264,074千円(前年同期比11.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益172,586千円(前年同期比15.9%減)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### ① EC事業

EC事業の主力事業である「スーパーデリバリー」は、購入客数の成長維持と客単価の向上により流通額を増加させることに取り組んでおります。

国内は、引き続き集客効果が高いリスティング広告を中心に広告投資を行っております。また今期から、オーガニック流入による会員の方がLTVが高い傾向があるため、SEO対策の強化にも取り組んでおります。2024年4月期第2四半期の新会員プラン(フリープラン)の導入以降、客単価の低い新規購入者数の割合が大幅に増加したことなどにより購入客単価の低下が継続しておりましたが、底打ちが確実に見えてきた結果、国内流通額は前年同期比9.9%増となりました。

海外は、タイ、フランス、イギリスなど高成長が続く国が多い一方で、香港の低迷が予想以上に継続している他、アメリカは関税の影響を受け成長率が低下した結果、海外流通額は前年同期比4.9%増になりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の「スーパーデリバリー」の流通額は7,267,370千円(前年同期比8.5%増)となりました。

この結果、EC事業の売上高は922,739千円(前年同期比6.6%増)となりました。費用面においては、人件費が前年同期比19.5%増に加え、アメリカの関税の影響により海外送料等が増加したことでその他費用が前年同期比54.1%増となった結果、販売費及び一般管理費は前年同期比19.8%増となりました。この結果、セグメント利益は287,678千円(前年同期比3.8%減)となりました。なお、海外送料等は常に変動するため、海外会員が負担する送料等の設定は常時チューニングしております。ただし、実際にかかるコストとは時間差が生じるため、今回のように環境が大きく変化した局面においてはボラティリティが高くなります。継続的かつ細やかなチューニングの効果により、今後ボラティリティは徐々に低下する予定です。

#### ② フィナンシャル事業

「Paid」におきましては、加盟企業の獲得増加を継続するとともに、加盟企業単価を向上させることに取り組んでおります。取扱高は順調な成長が継続しており、グループ外の取扱高は10,975,180千円(前年同期比12.2%増)、全体の取扱高(グループ内の取扱高3,307,887千円を含む)は、14,283,067千円(前年同期比11.5%増)となりました。

「URIHO」におきましては、契約者数を増やすことにより保証残高を増加させ、売上高成長に繋げることに取り組んでおります。当第1四半期連結会計期間末の保証残高は、65,911,012千円と前期末比4.6%増になりました。

なお、前期第3四半期より株式会社ラクーンレント（家賃保証事業）が連結子会社から除外されました。この影響を受けた結果、フィナンシャル事業の売上高は722,758千円（前年同期比1.9%減）、セグメント利益は181,250千円（前年同期比1.0%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 財政状態

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より261,296千円減少して15,956,541千円になりました。流動資産は280,971千円減少して13,031,985千円になりました。減少の主な要因は、取引の増加に伴い売掛金が182,334千円増加した一方で、法人税等の支払いや配当金の支払い等により現金及び預金が326,625千円減少したことによるものです。固定資産は19,675千円増加して2,924,556千円になりました。増加の主な要因は、ソフトウェアとソフトウェア仮勘定が合計で17,350千円増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末より197,156千円減少して11,436,408千円になりました。流動負債は185,787千円減少して10,508,557千円になりました。減少の主な要因は、短期借入金が200,000千円増加した一方で、買掛金が106,010千円、未払法人税等が270,087千円減少したことによるものです。固定負債は11,368千円減少して927,850千円になりました。減少の主な要因は返済により長期借入金が11,250千円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は64,140千円減少して4,520,133千円になりました。減少の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益172,586千円の計上により利益剰余金が増加した一方で、配当金の支払いにより利益剰余金が245,499千円減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末より336,509千円減少して3,994,031千円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は214,165千円となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益264,074千円により資金が増加した一方で、法人税等の支払額342,941千円及び売上債権の増加182,334千円により資金が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は62,322千円となりました。この主な要因は、ソフトウェア開発等による無形固定資産の取得による支出43,710千円と投資有価証券の取得による支出25,000千円を計上したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は60,021千円となりました。この主な要因は、短期借入金の純増額200,000千円により資金が増加した一方で、配当金の支払額245,499千円により資金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては概ね予定通りに推移しており、現時点においては前回公表時より変更はありません。

上記に記載した将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,340,522	4,013,896
売掛金	8,843,581	9,025,915
求償債権	19,719	22,793
貯蔵品	57	100
前払費用	228,945	205,614
その他	264,460	192,225
貸倒引当金	△384,329	△428,560
流動資産合計	13,312,957	13,031,985
固定資産		
有形固定資産		
建物	620,329	620,579
減価償却累計額	△154,087	△159,959
建物(純額)	466,241	460,619
工具、器具及び備品	89,630	92,072
減価償却累計額	△45,261	△48,908
工具、器具及び備品(純額)	44,368	43,163
土地	882,140	882,140
有形固定資産合計	1,392,750	1,385,924
無形固定資産		
ソフトウェア	301,247	334,733
ソフトウェア仮勘定	139,594	123,458
その他	632	575
無形固定資産合計	441,474	458,767
投資その他の資産		
投資有価証券	681,766	696,509
敷金及び保証金	15,757	15,722
繰延税金資産	373,082	367,581
その他	50	50
投資その他の資産合計	1,070,656	1,079,864
固定資産合計	2,904,881	2,924,556
資産合計	16,217,838	15,956,541

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	9,195,870	9,089,860
短期借入金	300,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	45,000	45,000
未払金	216,482	233,902
未払法人税等	368,261	98,174
保証履行引当金	188,143	188,054
賞与引当金	111,801	46,869
販売促進引当金	56,150	56,870
預り金	15,195	31,500
その他	197,439	218,325
流動負債合計	10,694,345	10,508,557
固定負債		
長期借入金	881,250	870,000
その他	57,968	57,850
固定負債合計	939,218	927,850
負債合計	11,633,564	11,436,408
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,877,096	1,877,096
資本剰余金	1,276,914	1,276,914
利益剰余金	3,064,598	2,991,684
自己株式	△1,808,827	△1,808,827
株主資本合計	4,409,782	4,336,869
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,994	9,994
その他の包括利益累計額合計	9,994	9,994
新株予約権	164,495	173,269
純資産合計	4,584,273	4,520,133
負債純資産合計	16,217,838	15,956,541

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)
売上高	1,523,582	1,559,365
売上原価	303,621	287,061
売上総利益	1,219,961	1,272,303
販売費及び一般管理費	920,106	1,001,224
営業利益	299,854	271,079
営業外収益		
受取手数料	535	697
その他	651	1,150
営業外収益合計	1,187	1,847
営業外費用		
支払利息	2,046	3,647
支払手数料	376	1,877
投資事業組合運用損	—	3,327
その他	96	—
営業外費用合計	2,519	8,852
経常利益	298,522	264,074
税金等調整前四半期純利益	298,522	264,074
法人税等	93,372	91,488
四半期純利益	205,150	172,586
親会社株主に帰属する四半期純利益	205,150	172,586

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)
四半期純利益	205,150	172,586
四半期包括利益	205,150	172,586
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	205,150	172,586

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	298,522	264,074
減価償却費	34,467	37,242
株式報酬費用	13,340	8,773
貸倒引当金の増減額(△は減少)	44,895	44,230
保証履行引当金増減額(△は減少)	4,109	△89
受取利息及び受取配当金	△2	△1
支払利息	2,046	3,647
投資事業組合運用損益(△は益)	—	3,327
売上債権の増減額(△は増加)	△125,027	△182,334
求償債権の増減額(△は増加)	△7,797	△3,074
棚卸資産の増減額(△は増加)	55	△43
仕入債務の増減額(△は減少)	83,832	△106,010
預り金の増減額(△は減少)	7,850	16,305
前受金の増減額(△は減少)	39,008	27,224
前払費用の増減額(△は増加)	15,999	23,331
未払又は未収消費税等の増減額	△18,579	63,142
その他	△107,112	△67,298
小計	285,608	132,448
利息及び配当金の受取額	2	1
利息の支払額	△2,047	△3,673
法人税等の支払額	△107,936	△342,941
営業活動によるキャッシュ・フロー	175,626	△214,165
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△498	△250
無形固定資産の取得による支出	△46,662	△43,710
投資有価証券の取得による支出	△30,000	△25,000
定期預金の払戻による収入	500	—
投資事業組合からの分配による収入	2,000	6,602
敷金及び保証金の差入による支出	—	△14
敷金及び保証金の回収による収入	—	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,660	△62,322
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△11,250	△11,250
配当金の支払額	△107,672	△245,499
自己株式の取得による支出	△32	—
短期借入金の純増減額(△は減少)	300,000	200,000
その他	△2,736	△3,272
財務活動によるキャッシュ・フロー	178,308	△60,021
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	279,274	△336,509
現金及び現金同等物の期首残高	4,613,379	4,330,540
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,892,654	3,994,031

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	EC事業	フィナンシャル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	865,654	657,928	1,523,582	—	1,523,582
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	78,916	78,916	△78,916	—
計	865,654	736,845	1,602,499	△78,916	1,523,582
セグメント利益	298,936	183,051	481,987	△182,132	299,854

(注) 1. セグメント利益の調整額△182,132千円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。なお、全社収益は、主に各事業セグメントからの経営指導料等であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	EC事業	フィナンシャル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	922,739	636,625	1,559,365	—	1,559,365
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	86,133	86,133	△86,133	—
計	922,739	722,758	1,645,498	△86,133	1,559,365
セグメント利益	287,678	181,250	468,929	△197,849	271,079

(注) 1. セグメント利益の調整額△197,849千円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。なお、全社収益は、主に各事業セグメントからの経営指導料等であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。